

履修ガイドブック2026

- 1 履修登録について【はじめに】
- 3 令和8年度 授業日程・履修登録日程
- 5 履修登録のスケジュール
- 7 履修計画のポイントと作成手順
- 8 【STEP 1】 履修計画の作成
- 9 初期設定登録：新入生対象
- 10 【STEP 2】 履修登録の流れ（計画～登録）
- 11 【履修登録上の注意事項】①教養教育科目
- 13 【履修登録上の注意事項】②全学共通教育科目・広域基礎科目
- 14 【履修登録上の注意事項】③専門教育科目・相互履修制度
- 15 【履修登録上の注意事項】④教職・学芸員課程科目
- 16 カリキュラム変更に伴う履修登録方法について
- 18 履修登録に際しての資料について
- 19 授業計画（シラバス）の見方
- 23 科目ナンバリングの見方
- 24 履修系統図の見方
- 25 履修登録表（下書き用）

履修登録について【はじめに】

◆大学での学び

大学における学修の特徴は、多くの科目の中から各自が履修科目を選択できることです。

受ける授業と時間割は、自分が決め、自分で組み立てます。

あなた自身が学びの目的と方向性を明確にしなければなりません。

◆履修登録

履修登録とは、大学を卒業するのに必要な単位を系統的に履修し単位を修得していくための基本となる登録のことです。自らが1年間に学ぼうと考えている科目を登録する重要な手続きです。

- ・履修登録の手続きを行わないと「授業」「試験」を受けることができません。
- ・生物資源科学部では、「Web履修登録」で行っています。学部ポータルサイト（LiveCampus）を使用します。
- ・履修登録するには、事前の計画が大切です。しっかりと履修計画を立てましょう。

◆履修登録は学期ごと（年2回）

大学の授業は、前学期・後学期ごとに開講されます。履修登録期間中に登録すること。

（後述：「令和8年度 授業日程・履修登録日程」参照）

◆大学授業の実施期間

大学の授業は、下表のとおり授業実施期間が分かれています。

学期名	内容	学期名	内容		
前学期開講	前学期	前学期中に開講	後学期開講	後学期	後学期中に開講
	前学期前半	前学期中のさらに半分の期間で開講		後学期前半	後学期中のさらに半分の期間で開講
	前学期後半			後学期後半	
	前学期隔週	前学期中の隔週 (1・3週又は2・4週)での開講		後学期隔週	後学期中の隔週 (1・3週又は2・4週)での開講
	前学期集中	前学期中で集中的に開講		後学期集中	後学期中で集中的に開講
	夏季集中	夏季休暇期間中で集中的に開講		冬季集中	冬季休暇期間中で集中的に開講
通年開講	通年	1年間（前学期及び後学期）を通して開講			
	集中	1年間（前学期及び後学期）にまたがり短期間に集中的に開講			

◆履修登録をするにあたり必要なもの

履修登録をする前に各自の「履修計画」を作成し、修得する科目の情報を下記の冊子・媒体を必ず確認すること。(後述：「履修登録に際しての資料について」参照)

名称

- ・学部要覧
- ・授業計画（シラバス）
- ・授業開講科目時間割表
- ・科目ナンバリング
- ・履修ガイドブック
- ・履修系統図
- ・ミライラツクル Learning Guide 日本大学の学びの基本がわかる本（保存版）

◆履修登録の諸原則

① 年間履修登録制限単位数（CAP制度）

CAP制度とは、単位制度を実質化し、学修すべき授業科目を精選することで、十分な学修時間を確保し、授業内容を深く真に身につけることを目的とした制度で、履修科目単位数の上限を定め、年次にわたって適切にバランスよく授業科目を履修させるための制度です。

生物資源科学部では、以下のとおり履修登録上限単位数を設定しています。

上限単位数

- ・1年次～4年次 48単位
- ・5年次以上 上限単位数の設定なし

履修登録上限単位数が設定されていますが、資格取得やその他の理由で上限単位数を超えて履修登録することは可能です。

② クラス指定

外国語科目のほか一部専門科目では、事前に受講クラスが指定されています。それらの科目は指定されたクラス以外を履修することはできません。

③ 履修登録における禁止事項

項目	説明
時間重複履修の禁止	同一曜日・同一時限には、一科目しか登録できません。
同一科目の登録禁止	開講される曜日時限が異なっても、同じ科目名で複数のクラスが開講されている科目は1クラスしか登録できません。
上級学年配当科目の履修禁止	自分の学年より上級の学年に配当されている科目は登録できません。
既修科目の再登録の禁止	合格の成績評価（S・A・B・C）を得た科目及び単位認定（N）された科目の再履修は認められません。
未登録科目の受講の禁止	履修登録していない科目の受講は認められません。成績評価を得ることもできません。

令和 8 年度 授業日程・履修登録日程

◆前学期日程

授 業 期 間 令和8年4月10日(金)～8月 5日(水)(授業予備日含む)

履修登録期間(前学期)	履 修 登 録 4月 2日(木)～4月 7日(火)
	履修登録中止 5月 8日(金)～5月11日(月)

※必修科目の登録漏れや進級・卒業要件の未充足に関する修正以外

履修登録期間後の追加・変更はできません。

【前学期】 ※表示案内:①～⑮は各曜日の「授業回数」を表す。★の行事は該当者のみ参加。

曜日	日曜日 Sun	月曜日 Mon	火曜日 Tue	水曜日 Wed	木曜日 Thu	金曜日 Fri	土曜日 Sat
4月 Apr	29 行事計画	30 行事計画	31 ガイダンス等	1 ガイダンス等	2 ガイダンス等	3 ガイダンス等	4 学部新入生開講式
【履修登録：期間4/2～4/7】							
	5	6 ガイダンス等	7 ガイダンス等	8 入学式	9 ガイダンス等	10 授業開始	11
【履修登録：期間4/2～4/7】							
		★	★	★	★	①	①
	12	13 ①	14 ①	15 ①	16 ①	17 ②	18 ②
	19	20 ②	21 ②	22 ②	23 ②	24 ③	25 ③
5月 May	26	27 ③	28 ③	29 昭和の日	30 5/6振替	1 臨時休校	2 臨時休校
	3 憲法記念日	4 みどりの日	5 こどもの日	6 振替休日	7	8	9
【履修中止：期間5/8～5/11】							
	10 NUBSフェスタ(新入生)	11	12	13 ③【通常授業日】	14 ③	15 ④	16 ④
【履修中止：期間5/8～5/11】							
		④	④	④	④	⑤	⑤
	17	18 ⑤	19 ⑤	20 ⑤	21 ⑤	22 ⑥	23 ⑥
	24	25 ⑥	26 ⑥	27 ⑥	28 ⑥	29 ⑦	30 ⑦
6月 Jun	31	1 ⑦	2 ⑦	3 ⑦	4 ⑦	5 ⑧	6 ⑧
	7 ワールドカフェ	8 ⑧	9 ⑧	10 ⑧	11 ⑧	12 ⑨	13 ⑨
	★	⑧	⑧	⑧	⑧	⑨	⑨
	14	15 ⑨	16 ⑨	17 ⑨	18 ⑨	19 ⑩	20 ⑩
	21	22 ⑩	23 ⑩	24 ⑩	25 ⑩	26 ⑪	27 ⑪
7月 Jul	28	29 ⑪	30 ⑪	1 ⑪	2 ⑪	3 ⑫	4 ⑫
	5	6 ⑫	7 ⑫	8 ⑫	9 ⑫	10 ⑬	11 ⑬
	12	13 ⑬	14 ⑬	15 ⑬	16 ⑬	17 ⑭	18 ⑭
	19	20 ⑭	21 ⑭	22 ⑭	23 ⑭	24 ⑮	25 ⑮
		20 海の日	21 ⑭	22 ⑭	23 ⑭	24 ⑮	25 ⑮
		⑭	⑭	⑭	⑭	⑮	⑮
8月 Aug	26	27 ⑮	28 ⑮	29 ⑮	30 授業終了	31	1
	2	3 授業予備日	4 授業予備日	5 授業予備日	6 夏季休業開始	7	8
	9	10	11 山の日	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
	30	31					

履修登録

履修登録中止

◆後学期日程

授 業 期 間 令和8年9月23日(水)～令和9年1月29日(金)(授業予備日含む)

履修登録期間(後学期)

履 修 登 録 9月14日(月)～9月17日(木)

履修登録中止 10月15日(木)～10月16日(金)

※必修科目の登録漏れや進級・卒業要件の未充足に関する修正以外

履修登録期間後の追加・変更はできません。

【後学期】

※表示案内:①～⑮は各曜日の「授業回数」を表す。★の行事は該当者のみ参加。

曜日	日曜日 Sun		月曜日 Mon		火曜日 Tue		水曜日 Wed		木曜日 Thu		金曜日 Fri		土曜日 Sat	
	日	行事計画	日	行事計画	日	行事計画	日	行事計画	日	行事計画	日	行事計画	日	行事計画
9月 Sep					1		2		3		4		5	
	6		7	前期成績発表	8		9		10		11		12	
	13		14		15		16		17		18		19	夏季休業終了
	【履修登録：期間9/14～9/17】													
	20		21	敬老の日	22	国民の休日	23	秋分の日 授業開始 【通常授業日: 月曜】		24		25		26
10月 Oct	27		28		29		30		1		2		3	
	4	創立記念日	5	創立記念日 振替休日 【通常授業日】	6		7		8		9		10	
	11		12	スポーツの日 【通常授業日】	13		14		15		16		17	
	【履修中止：期間10/15～10/16】													
	18		19		20		21		22		23	学部祭 準備日 (休講)	24	学部祭 (休講)
11月 Nov	25	学部祭	26	学部祭 片付け (休講)	27		28		29		30		31	
	1		2		3	文化の日	4		5		6		7	
	8		9		10		11		12		13		14	
	15		16		17		18		19		20		21	
12月 Dec	22		23	勤労感謝の日 【通常授業日】	24		25		26		27		28	
	29		30		1		2		3		4		5	
	6		7		8		9		10		11		12	
1月 Jan	13		14		15		16		17		18		19	
	20		21		22		23		24	授業予備日	25		26	
	27		28		29		30		31		1	元日	2	
	3		4		5		6		7		8		9	
	10		11	成人の日	12	授業再開	13		14		15		16	
2月 Feb	17		18		19		20		21		22		23	
	24		25		26	授業終了	27		28		29		30	
	31		1		2		3		4		5		6	
	7		8		9		10		11	建国記念の日	12		13	
3月 Mar	14		15		16		17		18		19		20	
	21		22		23	天皇誕生日	24		25		26		27	後期成績発表 (卒年)
	28		1		2		3		4		5	卒業生発表	6	
	7		8		9		10		11		12	進級者発表 後期成績発表 (卒年以外)	13	
	14		15		16		17		18		19		20	
21	春分の日	22	春分の日振替	23		24		25	卒業式	26		27		
28		29		30		31								

履修登録

履修登録中止

◆履修登録期間

自分で作成した「履修計画」を基に、期間中に履修登録を行ってください。
履修登録の期間外は、登録を行うことは、できません。

前学期履修登録

▶ 履修登録

令和8年 4月 2日(木) ~ 4月 7日(火)

抽選対象科目 1回目 登録期間：4月2日(木)～4月5日(日) 抽選日：4月6日(月) 12時
2回目 登録期間：4月6日(月) 12時以降 抽選日：4月7日(火) 12時

登録対象科目：前学期開講科目・後学期開講科目・通年開講科目・集中講義
※他学科開講科目も登録可能

【注意事項】

- ・履修登録は、各自の責任において必ず本人が「登録」すること。
- ・登録した科目が学部ポータルサイト(LiveCampus)の個人時間割上に登録されたか、必ず本人が「確認」をすること。
- ・※の他学科開講科目の登録は、シラバスにより、学科等の指定、履修条件を確認してください。
- ・一部の科目は抽選制で、抽選対象科目は抽選日に抽選を行い、学部ポータルサイト(LiveCampus)上で、結果を発表します。
当選者のみ自動的に登録されます。
ただし抽選に「当選」した科目は、「変更・削除・中止」ができません。

▶ 履修登録 中止

令和8年 5月 8日(金) ~ 5月 11日(月)

中止対象科目：前学期開講科目・通年開講科目・集中講義

【注意事項】

- ・【履修中止】履修登録をしていたが、今年度の履修を取り止めることができます。
中止の手続きにより、成績評価欄には「P」と表示され、GPA算出の対象外となります。
- ・中止した単位数は上限単位数(48単位)に含まれます。
- ・この期間では変更・追加はできません。
- ・抽選に「当選」した科目の中止はできません。
- ・中止をした場合、今年度内「同一科目」について履修登録はできません。

自分で作成した「履修計画」を基に、期間中に履修登録を行ってください。

▶ 履修登録

令和8年 9月14日(月) ~ 9月17日(木)

抽選対象科目 1回目 登録期間：9月14日(月)~9月15日(火) 抽選日：9月16日(水) 12時
2回目 登録期間：9月16日(水) 12時以降 抽選日：9月17日(木) 12時

登録対象科目：後学期開講科目

※他学科開講科目も登録可能

【注意事項】

- ・履修登録は、各自の責任において必ず本人が「登録」すること。
- ・登録した科目が学部ポータルサイト(LiveCampus)の個人時間割上に登録されたか、必ず本人が「確認」をすること。
- ・※の他学科開講科目の登録は、シラバスにより、学科等の指定、履修条件を確認してください。
- ・一部の科目は抽選制で、抽選対象科目は抽選日に抽選を行い、学部ポータルサイト(LiveCampus)上で、結果を発表します。
当選者のみ自動的に登録されます。
ただし抽選に「当選」した科目は、「変更・削除・中止」ができません。

▶ 履修登録 中止

令和8年 10月15日(木) ~ 10月16日(金)

中止対象科目：後学期開講科目・後学期集中講義

【注意事項】

- ・【履修中止】履修登録をしていたが、今後の履修を取り止めることができます。
中止の手続きにより、成績評価欄には「P」と表示され、GPA算出の対象外となります。
- ・中止した単位数は上限単位数(48単位)に含まれます。
- ・この期間では変更・追加はできません。
- ・抽選に「当選」した科目の中止はできません。

◆履修登録のポイント

履修計画を立てる前に下記のポイントを押さえておきましょう。

1. 科目の内容はシラバスで確認

受けたい授業の内容は、シラバスで確認する。(ミライヲツクル Learning Guide を参照)

2. 必修科目は履修年次に必ず履修する

授業科目は、教育活動の成果として保証する卒業の認定に関する方針(DP)を踏まえ、体系的に設けられており、その核となる必修科目は、他の科目を学ぶ上でも何年次に履修すべきか決められている。

3. 学びの目的・方向を自分自身で定め、バランスよく履修する

卒業要件では、学科別専門教育科目以外の科目(教養教育科目・基礎専門科目、全学共通教育科目など)を履修する必要がある。また、他学部・他学科の科目も履修することができる。これらは、専門分野以外の視点や気づきを得る有用な機会でもある。

総合的に自分の学びをデザインし、バランス良く履修しよう。

4. 科目数、曜日は無理なく

関心を広げ、積極的に履修することは良いことではあるが、授業ごとに課題や予習・復習が課されるので、欲張りは禁物。

また、履修登録単位の上限数が定められているので確認しましょう。科目数や曜日・時限を適切に配分し、無理のない学修計画を立てることも重要です。

◆履修登録

履修登録とは、

大学を卒業するのに必要な単位を系統的に履修し単位を修得していくための基本となる登録のことです。自らが1年間に学ぼうと考えている科目を登録する手続きです。履修登録の手続きを行わないと「授業」「試験」を受けることができません。

生物資源科学部では、「Web履修登録」で行っています。

【重要】

必ず**指定された期間**に「履修登録」を行い、必ず**登録の確認・見直しを学生自身が行う**こと。登録できていない場合は、どんなに一生懸命授業を受けても、試験ができて「無効」となり単位修得できません。

◆履修計画の作成

履修計画を作成する手順の基本を説明します。

手順 1 履修登録に際しての以下資料を参照すること。

名称	
・ 学部要覧	・ 授業計画（シラバス）
・ 授業開講科目時間割表	・ 科目ナンバリング
・ 履修ガイドブック	・ 履修系統図
・ ミライヨツクル Learning Guide	日本大学の学びの基本がわかる本（保存版）

※ 後述：「履修登録に際しての資料について」で詳細説明

手順 2 卒業や進級に必要な単位と必修科目・選択科目と開講学年を確認し，科目を選定する。

進級・卒業条件を確認する。

※確認方法は，学部要覧の各学科「履修要項・授業科目一覧」を参照すること。

そのうち各学年で修得できる科目は何かを下記の順に確認

- (1) 専門教育科目（必修科目）
- (2) 教養教育科目（必修科目）
- (3) 専門教育科目（選択科目）
- (4) 教養教育科目（選択科目）
- (5) 教職・学芸員課程の履修者：各年次で修得する科目
- (6) 再履修（※）が必要な科目の確認 ※前年度不合格科目のこと

手順 3 P.7「履修計画のポイント」と後述の P.11～P.15「履修登録上の注意事項」を参照すること。

ポイントと注意点が記載されているので確認してから計画を立ててください。

手順 4 巻末資料「履修登録表（下書き用）」に履修計画を作成してみる。

◆初期設定

新入生は、4月の新入生ガイダンス後すぐに、Web履修登録に必要な初期設定を学部ポータルサイト（LiveCampus）で行ってください。

初期設定を完了することで、Web履修登録を行うことができるようになります。

設定①：事前準備・「NU-AppsG」のアカウント取得

新入生ガイダンス時に配布された書類「NU-AppsG アカウント発行について」を用意してください。

学部ポータルサイト（LiveCampus）のログイン、メールへのログイン時に使用します。
利用者情報（個人情報）が掲載されていますので、大切に保管してください。

問合せ先：コンピュータ管理室（本館9階）

設定②：学部ポータルサイト（LiveCampus）へ

- ①学部ホームページのTOPからメニューを開く→「在学生の方へ」を選択
→「学生支援システムポータルサイト（学生用）」を選択
- ②学部ポータルサイト（LiveCampus）の画面が開き、ログイン画面へ

設定③：ログイン

ユーザIDとパスワードを入力（「NU-AppsG アカウント発行について」を参照）

設定④：学籍情報の登録・確認

ポータルサイトで情報の確認と登録をお願いします。

・学生本人・保証人・緊急時連絡先・学費支弁者の住所、電話番号等の登録と確認

初期設定完了

履修登録を行うことができます。

→STEP2履修登録の流れ（計画～登録）へ

【STEP 2】 履修登録の流れ（計画～登録）

◆履修登録の流れ

履修登録は下記の流れで行います。STEP ごとの注意事項をよく読み、間違いのないように。

STEP 1：年間の履修計画をたてる ※前学期ガイダンス後、すぐに計画を！

- ①「学部要覧」で必要修得単位の確認をします。※履修系統図・科目ナンバリングも参照
- ②「シラバス」で履修条件・授業内容・教科書等を確認します。
- ③「授業開講科目時間割表」で科目が開講される曜日・時限などを調べます。
- ④「履修ガイドブック」最終頁の「履修登録表（下書表）」を利用しながら計画を立てます。

STEP 2：必修科目等を学部ポータルサイト (LiveCampus) へ登録する

- ①必修科目「専門教育科目」を登録します。
- ②必修科目「教養教育科目」を登録します。
- ③選択科目「専門教育科目，教養教育科目，全学共通教育科目」を登録します。
※ 前学期に全ての学期（前学期・後学期・通年・集中講義）の科目を登録します。
※ 後学期では，前学期の成績を踏まえ後学期開講科目を追加，変更の登録をします。

STEP 3：抽選科目を学部ポータルサイト (LiveCampus) へ登録する

- ①【要確認】抽選申し込みをした時限に履修の必要な「必修科目」がないか確認。
- ②抽選方式で登録する教養教育科目等を登録します。

当選後は取消不可

STEP 4：履修登録内容の確認【重要】

- ①登録忘れの開講科目がないか確認します。
- ②登録間違いの科目がないか確認します。

抽選から外れた場合はSTEP 3へ

STEP 5：抽選科目の結果確認

抽選日

- ①当選：そのまま履修登録完了。※当選後は取消不可
- ②落選：当選しない場合は登録科目を見直してSTEP 3へ

履修登録完了

【新カリキュラム】(令和5年度以降に入学した学生)

◆「教養教育科目」の履修について

1. 教養教育科目全般について

- ① 同一科目については、年度内（前学期・後学期）を通じて1回のみ履修登録。
つまり、前学期「不合格」になった場合、後学期「登録不可」。次年度に再履修。
- ② 同一科目が、複数クラス開講している場合、1つのクラスを選択し履修登録。
「基礎生物学（01）」と「基礎生物学（02）」の場合は、2クラスの中から1つ選択し履修登録
- ③ 教養教育科目は、一部の科目で「抽選による履修登録」を実施している。

【アドバイス】2年次以降になると専門教育科目の開講が多くなり、教養教育科目の履修が難しくなるので、教養教育科目は1年次にできるだけ履修し単位を修得すること、また幅広い教養を身につけるために、系統に偏りなく履修し単位を修得するようにしてください。

2. 「英語」の履修登録について

(1) クラス分けは「英語プレイスメントテスト」

英語は複数クラス（①班～⑦班）で開講されており、「英語プレイスメントテスト」によって学生ごとにクラスが指定されます（事前登録済）。**指定されたクラスで受講するようにしてください。**

【重要】 クラス編成結果は、学部ポータルサイト（LiveCampus）でお知らせします。

(2) 教科書はクラスが決定し、科目担当者からの指示の後に購入してください。

(3) 「英語」再履修について

- ・対象：再履修者、留年生、復学者、転科・編入・転部生、令和4年度以前入学者
- ・大学による事前登録は行われません。各自で「抽選申請」等の手続きが必要です。
- ・令和8年度は、「英語再履修者ガイダンス(4月6日)※」より前に「第1回抽選登録(4月2日～4月5日)」が開始されます。まずは3月31日(火)公開の「NUBS スタートガイド R8」を確認し、オンラインでの申請を優先してください。

※英語再履修ガイダンスについて

「どのクラス番号(班番号)を選べばよいか分からない」等の不安がある学生(再履修者,転科・編入・転部生, 令和4年度以前入学者)向けに、対面での相談を受け付けます。

日時：令和8年4月6日(月) 12:30～13:30 場所：141講義室(1号館4階)

3. 英語以外の外国語の履修登録について

ドイツ語及び中国語は、1年次で「初級」、2年次以降に「中級」を履修してください。
フランス語、スペイン語、韓国語は、「初級」のみ開講しています。

4. 「スポーツ実技Ⅰ～Ⅳ」, 「スポーツ科学」の履修登録について

- ① 「スポーツ実技Ⅰ」は必修科目, 「スポーツ実技Ⅱ」は選択科目です。学科ごとに受講できるクラス(スポーツの種目別)が指定されています。
- ② 「スポーツ実技Ⅰ」及び「スポーツ実技Ⅱ」は種目選択のため, 抽選期間に, ポータルサイト(LiveCampus)から, 希望する種目について回答し, 申請してください。抽選結果は, 履修登録をもって発表となりますので, ポータルサイトの「時間割」にて確認してください。初回授業は, 筆記用具(ボールペン)を持参し, 体育館に集合してください。更衣は不要です。
- ③ 「スポーツ実技Ⅲ～Ⅳ」及び「スポーツ科学」の選択科目は, 学科の指定はなく自由に履修することができます。曜日時限の確認は時間割「教養教育科目」の時間割表に記載されています。2年次以降のスポーツの機会の確保のため原則2年次以上が望ましい。

【旧カリキュラム】(令和4年度以前に入学した学生)

◆ 「教養教育科目」の履修について

1. 旧カリキュラム教養教育科目について

旧カリキュラムの科目は年度が進むごとに順次閉講。ただし, 再度開講される科目や新カリキュラムで振替えに対応している科目もあるため, 授業開講科目時間割表の「授業科目振替表」で確認してください。

2. 英語科目Ⅰ～Ⅳの再履修者は, ①又は②で履修登録をしてください。

- ① 「旧カリキュラム」用クラス 表記例: 「英語Ⅰ(旧カリ01)」
各学科の時間割表で確認してください。
- ② 上記①で履修できない場合は, 「再履修」クラス 表記例: 「英語Ⅰ(再)」
履修登録は, 所定期間に教務課に申し込む形式となります。詳細は学部ポータルサイトにてお知らせいたします。

3. 英語以外の外国語の履修登録について

旧カリキュラムの全ての科目が閉講。一部の科目は, 新カリキュラムで振替えに対応しているため授業開講科目時間割表の「授業科目振替表」で確認してください。

4. 「スポーツ実技Ⅰ～Ⅳ」, 「スポーツ科学」の履修登録について

旧カリキュラムの全ての科目が閉講。新カリキュラムでの振替えに対応しているため授業開講科目時間割表の「授業科目振替表」で確認してください。学科によるクラス指定はありません。履修登録はポータルサイトにて抽選となりますので, 抽選期間内に受講したい曜日・時限, 種目を選択し申し込みしてください。

◆「全学共通教育科目」等の履修について：新カリキュラムのみ

下記1, 2の科目は、履修方法は通常とは異なり、別のフォームから登録となります。
詳細は、4月のガイダンス配布資料を参照すること。

1. 「自主創造の基礎」(全学共通教育科目)

この科目は、日本大学全体で開講される教養基盤科目で、大学入学までの受動的な学修からの転換を図り、「自ら考え、行動し、創り上げる」大学生としての能動的な学修を身につけることを目的としています。「キャリア形成」に関する科目でもあります。また、**他学部との交流ができる「日本大学ワールド・カフェ(授業の一環)」**令和8年6月7日(日)の参加が必須になります。

1年次(令和8年度入学者)のみ対象

本科目は前期の抽選対象科目です。履修登録期間と方法は、5ページを参照してください。

2. 「日本を考える」(全学共通教育科目)

この科目は、グローバル化が進む中で、日本を巡るさまざまな現実課題に関心を持って学べるように、日本の文化・歴史・社会・自然・環境等をテーマに授業を実施します。

全15回の授業は前学期(夏期集中)に対面形式で実施し、**他学部の学生とのグループ・ワークを中心に展開**します。

1年次及び2年次(令和8年度及び令和7年度入学者)のみ対象

<履修登録期間> 4月2日(木)～4月7日(火) 23:59 締切

<履修登録方法> 右記QRコードから入力

<結果> 4月10日(金)発表、変更はできません



3. 「データサイエンスの世界」

Society 5.0で活躍するH型人才を育成するべく、その根幹となる情報リテラシーやデータサイエンスに係る知識、技能、習慣を涵養することを目的に「数理・データサイエンス・AI」等をテーマに授業を実施します。

1年次(令和8年度入学者)のみ対象
夏期(8月)と春期(2月)に開講されますが、生物資源科学部の学生は、夏期のみ受講が認められます。春期は受講できません。

<履修登録期間> 4月2日(木)～4月7日(火) 23:59 締切

<履修登録方法> 右記QRコードから入力

<結果> 4月9日(木)正午発表、変更はできません



◆「広域基礎科目」の履修について：新カリキュラムのみ

「生物資源科学概論」(広域基礎科目)

この科目は、「生物資源科学部」を知ることを目的とした科目。

生物資源科学の幅広い学問領域とその未来への可能性の学びをとおして、学科での「教育」・「研究」が、生物資源科学の主要な学問領域とどのように関連し、つながっているのかを知ることができます。

本科目は前期の抽選対象科目です。履修登録期間と方法は、5ページを参照してください。

※「広域基礎科目」は、教職課程を受講する学生のみ履修登録を認めますが、「生物資源科学概論」は教職課程を受講していない学生であっても、履修登録が可能です。

◆ 「専門教育科目」の履修について

1. 所属学科の科目の履修登録

- ① 所属学科の授業時間割で開講される学期・曜日・時限を確認し、履修登録をしてください。
所属学科の科目履修登録では、抽選制度はありません。
- ② 各年次に担当されている「必修科目」はその年次中に履修登録し、単位修得してください。
- ③ 旧カリキュラム学生で1～3年次担当科目で、所属学科の授業時間割に記載がない科目は閉講となります。新カリキュラムで振替えに対応しているため、「授業科目振替表」で確認してください。

2. 所属学科以外の科目の履修登録

定員に空きがある場合、他学科の学生も履修することができます。
履修登録が可能な科目については、学部ポータルサイト (LiveCampus) に掲載します。
シラバスにより、学科等の指定、履修条件を確認してください。
なお、履修できる単位数に制限がありますので、注意してください。

◆ 「他学部開講科目」の履修について

・ 相互履修制度

相互履修制度は、他学部で開講している科目を履修することができます。他学部の開講時間割等は生物資源科学部の教務課で閲覧できます。

履修登録は、履修希望科目を開講する学部で行うことになり、学部によって受付を行う期間等が異なり確認が必要となります。

なお、履修できる単位数に制限がありますので、注意してください。

◆「教職・学芸員課程科目」の履修について

1. 教職課程，学芸員課程は登録制，ガイダンス参加は必須

① 教職課程

1年次後学期（獣医学科は3年次後学期）から受講が始まります。

受講希望者及び受講を検討している方は，4月に実施する「教職課程オリエンテーション」に参加してください。

受講希望者は7月に実施する「教職課程ガイダンス」への出席が必須となります。

なお，当日に「登録証」の書類を配布します。

② 学芸員課程

1年次（獣医学科は3年次）から受講が始まります。

受講希望者は4月に実施する「学芸員課程ガイダンス」への出席が必須となります。

なお，当日に「登録証」の書類を配布します。

※ 2年次以降（獣医学科は4年次）から，新たに教職課程及び学芸員課程を受講したい者は，教職・学芸員課程支援センターに相談してください。

※ ガイダンスの開催日程はポータルサイト（LiveCampus）にてお知らせします。

2. 履修登録

教職課程・学芸員課程科目の履修は，所属学科の卒業要件に加えて履修する必要があります。

履修登録するに当たっては，①ガイダンス参加，②教職課程・学芸員課程の「登録証」を提出が必要です。

登録証提出者のみ，教職課程・学芸員課程の科目「履修登録」ができます。

辞退をするにあたっては「辞退届」を教職・学芸員課程支援センターに提出してください。

3. 受講料

教職課程・学芸員課程の授業科目を受講する場合，**別途受講料がかかります。**

ガイダンスにて説明しますので，必ず参加してください。

カリキュラム変更に伴う履修登録方法について

◆生物資源科学部の新カリキュラムと旧カリキュラム

生物資源科学部の改組に伴い、令和5年度から新しいカリキュラムによる教育が始まりました。

令和5年度以降に入学した学生	新カリキュラム 適用
令和4年度以前に入学した学生	旧カリキュラム 適用

令和4年度以前に入学した学生に適用されている旧カリキュラムについては、令和5年度に1年次配当科目、令和6年度に2年次配当科目、令和7年度に3年次配当科目、令和8年度に4年次配当科目が閉講というように、順次科目が閉講されていきます。

閉講となる年次の科目については、以下の点を留意して履修登録を行ってください。

◆「授業開講科目時間割表」に記載される科目（再開講）

閉講となる年次の科目については、すべての科目は開講されません。履修指導上の必要性から一部の科目については再度開講される場合があります。その場合は、「授業開講科目時間割表」に記載されますので、通常どおり履修登録を行ってください。

◆「授業開講科目時間割表」に記載のない科目

- ① 新カリキュラムの科目を振替えることにより対応するもの：振替科目

新カリキュラムの科目を修得することで、旧カリキュラムの科目を修得したことになります。新カリキュラムと旧カリキュラムの対応は、「授業開講科目時間割表」の「Ⅲ 授業科目振替表（再開講科目含む）」を確認してください。

【Ⅲ 授業科目振替表の見本】						
生命農学科						
令和5年度改組による新旧授業科目振替表						
令和5年度				令和4年度以前入学者		
必修区分	学科	科目名	単位	必修区分	科目名	単位
必修	アグリ	アグリサイエンス概論	2	必修	生命農学概論	2
必修	旧生農	植物生態学（集中）	2	必修	植物生態学	2
...
...

表の左側が振替え元となる新カリキュラムの科目、右側が振替え先となる旧カリキュラムの科目で、左側の科目を修得すると、右側の科目を修得したことになります。

履修登録の際は、左側の科目を登録してください。

② 閉講となるもの

再開講，振替えによる対応がともに行われないものは，再履修ができません。

その他の科目を履修してください。

◆その他

旧カリキュラムの科目は年度が進むごとに，順次閉講となっていきます。

履修登録の際は，取り残しがないように注意をしてください。

履修登録に際しての資料について

履修登録をする前に各自の「履修計画」を作成し、修得する科目の情報を下記の冊子・媒体を必ず確認すること。

名称	内容：配布・閲覧場所について（HPの掲載有無）
学部要覧 	学部要覧は、本学部の学生が必ず知っておかなければならない学則、卒業に必要な単位数とその科目の一覧が掲載されており、学修を進めていく上で指針となる事項が集約されています。 新入生ガイダンス時に配付（入学時1回のみ）〔HPの掲載 有〕 https://www.brs.nihon-u.ac.jp/about/policy/gakusoku/
授業時間割表 	授業時間割表は、年度ごとに発行され、各学科の専門科目、教養教育科目の時間割が掲載されています。 4月のガイダンス時に配付（毎年度）〔HPの掲載 有〕 https://www.brs.nihon-u.ac.jp/study_support/timetable/
履修ガイドブック （本誌）	履修ガイドブックは、年度ごとに発行され、履修登録方法や登録期間など必要な情報が掲載されています。 4月のガイダンス時にデータ配信〔HPに掲載〕
授業計画（シラバス） 	科目ごとに授業の概要や各回の授業計画を示したものです。 学部ホームページにて掲載〔HPの掲載 有〕 https://www.brs.nihon-u.ac.jp/study_support/syllabus/
科目ナンバリング 	令和3年度から「科目ナンバリング制度」を導入します。 学部ホームページにて掲載〔HPの掲載 有〕 https://www.brs.nihon-u.ac.jp/about/subject_numbering/
履修系統図 	履修系統図とは、卒業までに身につけるべき知識・能力を得るための授業科目が、どのように配置されているか、各授業科目の関連性や履修順序などを“見える化”したものです。 学部ホームページにて掲載〔HPの掲載 有〕 https://www.brs.nihon-u.ac.jp/about/course_diagram/

授業計画（シラバス）の見方

◆授業計画（シラバス）の活用

シラバス（Syllabus）は、科目ごとに授業の概要や各回の授業計画を示したものです。

まず、自分が受講したい授業科目名と教員名を確認することが第一歩。受けたい授業の内容はシラバスで確認をすること。

シラバスには、授業のテーマ、目的・到達目標を見ると何をどこまで学ぶのかが分かります。

また半期15週の授業計画・内容が示されております。

実際に履修した時のことをイメージして、各回の予習・復習の指示と、成績評価や評価基準（試験・レポート、発表・発言なども重視されるもの等）も確認しましょう。

※「ミライヨツクル Learning Guide」も参照すること。

◆シラバス画面【参考科目：生物資源科学概論】

科目基本情報

科目ナンバー
31/32/33/34/35/36/37/38/39/40/41T1101
科目名
生物資源科学概論
担当教員名・資格
須江 隆【教授】 清水 みゆき【教授】 瀧澤 英紀【教授】 福島 英登【教授】 渡邊 泰祐【准教授】 笹田 勝寛【准教授】 山下 正道【准教授】
科目名
生物資源科学概論
単位数
2単位
配当学年
1年生／3年生
必修・選択
選択
開講時期
前期
学科・クラス指定等
学科指定無し
履修条件 ★1
講義室の試験時収容人数を受講上限数とする。受講者の定員を超過した場合は、抽選により受講者を決定する。

履修条件・科目の概要について

授業の概要

生物資源科学部に設置されている様々な学科の教育や研究が、現代における主要な学問領域とどのように関連し、つながっているのかについて、異なる学科に所属する教員によるオムニバス形式で講述する。

本年度は、「おいしさ」をキーワードに6学科と教養の教員がそれぞれの専門分野をベースにして魅力的な話題を提供する。「おいしさ」に関わる問題は、単なる一個人の食生活に関する問題にとどまるものでなく、複数の学問分野が取り扱うさまざまな課題に複雑にかかわっている。その問題に向き合うためには、複眼的な視野を要することに加えて、多様な学問分野を結集した総合力を発揮することが重要であることを受講生諸君に実感してほしい。

学びのキーワード

おいしさ、歴史、文化、発酵、環境、農法、食肉、森林、水、水産、魚、流通、情報

授業の目的

生物資源科学を構成する多様な学問領域に興味・関心を持つために、複数の学問領域の基盤や成果、各領域の連関性を理解することを目標とする。（〔CP-9〕に対応）

授業方法

異なる学科に所属する教員によるオムニバス形式で、全15回を対面型の講義で展開する。但し授業は、土曜日の1時限と2時限に連続で2回分を実施し、第15回授業のみ最終日の土曜日1時限での実施となる。受講者には、第15回授業の終了後に、「振り返りシート」の記入と、「レポート（3課題で2,000字程度）」の作成を課し、それらをもとにして個別行動目標の②～④に到達できたかどうかをはかる。Google classroomを併用して課題等の作成・提出を行うとともに、質疑にも対応する。

学修を通じて育成する力（DPとCPとの対応関係）

DP・CP1：知識・教養・倫理観
DP・CP2：世界情勢の理解

到達目標

① 生物資源科学を構成する多様な学問領域に興味・関心を持つことができる。
 ② 「おいしさ」が、知恵や体験に基づいた文化の所産として発達してきたことを例示できる。
 ③ 「おいしさ」の科学的追究が、複数の学問領域とどのように関連し合っているのかを例示できる。
 ④ 生物資源科学部における様々な学科の教育や研究の意義を述べるができる。

到達目標

授業計画

回数	授業内容	授業時間外学習 (準備学習・復習)の内容	時間外学習時間数の目安
1	授業ガイダンスと生物資源科学の領域受講に当たって学習目標や成績評価等に関する説明を行う。また生物資源科学が対象とする領域について解説する。	準備学習として、シラバスを熟読し、授業の具体的な到達目標等を確認しておくこと。また授業終了後に、講義ノートや配付資料の見直し等により講義内容の理解を深めること。	120分
～	～	～	～
15	生物資源科学の可能性、授業の総括と振り返り全体の授業を総括した上で、受講者には「振り返りシート」を記入してもらう。また個別行動目標と3課題のレポートとの関連性についての説明も行う。	事前に、この授業科目における自らの学びの姿勢を振り返っておくこと。 事後学修として、3課題のレポートの作成を行うこと。	360分

授業計画

到達目標と成績評価方法の対応

① 生物資源科学を構成する多様な学問領域に興味・関心を持つことができる。：①振り返りシート
 ② 「おいしさ」が、知恵や体験に基づいた文化の所産として発達してきたことを例示できる。
 ：②レポートI

成績評価	③ 「おいしさ」の科学的追究が、複数の学問領域とどのように関連し合っているのかを例示できる。 ：③レポートⅡ
	④ 生物資源科学部における様々な学科の教育や研究の意義を述べるができる。 ：④レポートⅢ生物資源科学概論
	成績評価基準・割合
	到達目標に掲げる4つの要素の達成度を判定するために、その内の①については振り返りシートによる自己評価（20点）によって評価する。②についてはレポートⅠ（20点：600字）で、③についてはレポートⅡ（40点：1,000字）で、④についてはレポートⅢ（20点：400字）で評価する。全ての要素を合計した評点が60点以上のものを合格とする。
	フィードバックの方法
教科書・参考書	レポートの評価については、第15回目の授業内で評価ルーブリックを呈示して説明をする。
	教科書
	教科書は使用しないが、授業用教材として、PowerPointスライド資料等を授業時に、あるいはGoogle Classroomで配付乃至は配信する。
	参考書
	参考文献は、各授業担当者が随時提示する。
オフィスアワー★2	
<ul style="list-style-type: none"> ● 開始期間 2024/04/09 終了期間 2024/07/29 ● 開始時間 12:15 終了時間 12:50 ● 曜日：水 ● 場所：歴史学研究室(1) ● 備考：担当教員連絡先：sue.takashi [at] nihon-u.ac.jp ([at] を@に置き換えて送信してください。) 	
科目の特徴	
アクティブ・ラーニングを用いた授業：振り返りシートによる自己評価、振り返り学習 ICTを用いた授業：Google classroomを活用した課題等の作成・提出、質疑応答	

★1 履修条件とは

各科目には、授業形式による適正人数を設けていたり、「授業の取り組む姿勢」等、科目によって条件を課しています。条件の種類は、「学科指定」、「人数指定による超過の場合の抽選実施」、「基礎知識の指定」、「授業の取り組む姿勢」等です。確認してください。

★2 オフィスアワーとは

学生と教員のコミュニケーションを充実させるために設けられた時間帯のことです。この時間帯には、学生からの授業内容等に関する質問や勉強の方法、さらには就職や将来の進路について個人的な相談を受けるために、教員が研究室で待機しています。

授業外学習時間の目安とは

授業科目の単位に必要な学修時間は、大学設置基準（文部科学省令）で

「1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準」と規定されています。

日本大学は、この大学設置基準に基づいて定めた「日本大学学則」により授業科目の単位計算をしています。

種別	1単位に要する授業時間
講義、演習科目	15時間から30時間までの範囲で定める時間の授業をもって1単位
実験・実習・実技科目	30時間から45時間までの範囲で定める時間の授業をもって1単位

毎週2時間（大学では1授業時間（2時間）を「90分間」と計算している）の授業を15週行って1単位としているため、上記の規定の「45時間の学修を必要とする内容」を満たすには、1授業科目に対して2時間の授業時間外の学修が求められています。

つまり、授業時間に加え、予習・復習の時間も単位に含まれると考えられます。

■ 講義の場合

$$\left(\begin{array}{c} \text{授業時間} \quad 2\text{時間} \\ + \\ \text{授業時間外の学修} \\ \text{(予習・復習)} \\ 4\text{時間} \end{array} \right) \times 15\text{週} = \underline{90\text{時間 (2単位) の学修}}$$

<例>

予習	授業	復習
2時間	2時間	2時間

$$\times 15\text{週} = \underline{90\text{時間 (2単位) の学修}}$$

授業の理解を助けるために、レポートや課題などが課されることがありますが、この単位の持つ意味（単位の実質化）をよく理解し、真剣に学修に取り組んでください。

課題が特に与えられなくても、予習・復習を習慣付けることが必要です。

◆科目ナンバリングとは

全ての授業科目を学問分野・レベル等で分類し、授業科目ごとに付番をすることで、各科目の関係性や、学生にとって教育効果の高い学びの順序を示すことを目的としています。

① 科目ナンバリングの活用例

科目ナンバリングは、次のように活用することができます。

- (1) 科目ナンバリングコードから学問分野・レベル等を読み取り、その科目のカリキュラムにおける位置付けを把握することで、学生がどの科目から履修していけばよいかを理解することができます。(履修系統図もあわせて活用してください。)
- (2) 科目ナンバリングコードからシラバスを検索することができ、その科目の授業内容を素早く確認することができます。

② 科目ナンバリングコード定義

0 1 X 1 1 0 1
① ② ③ ④ ⑤

- ① 学科・専攻コード：科目が所属する学科・専攻・共通などを数字2桁で示す。
- ② 分野コード：科目が所属する学科ごとに細分化した分野をアルファベット1文字で示す。
- ③ レベルコード：教授する授業レベル（原則配当年次）を数字1文字で示す。
- ④ 講義形態コード：科目の講義形態を数字1文字で示す。
- ⑤ 識別コード：①～④までに付与したコードで同一科目の場合の識別に数字2桁で示す。

※ 詳細は学部ホームページを参照

https://www.brs.nihon-u.ac.jp/about/subject_numbering/



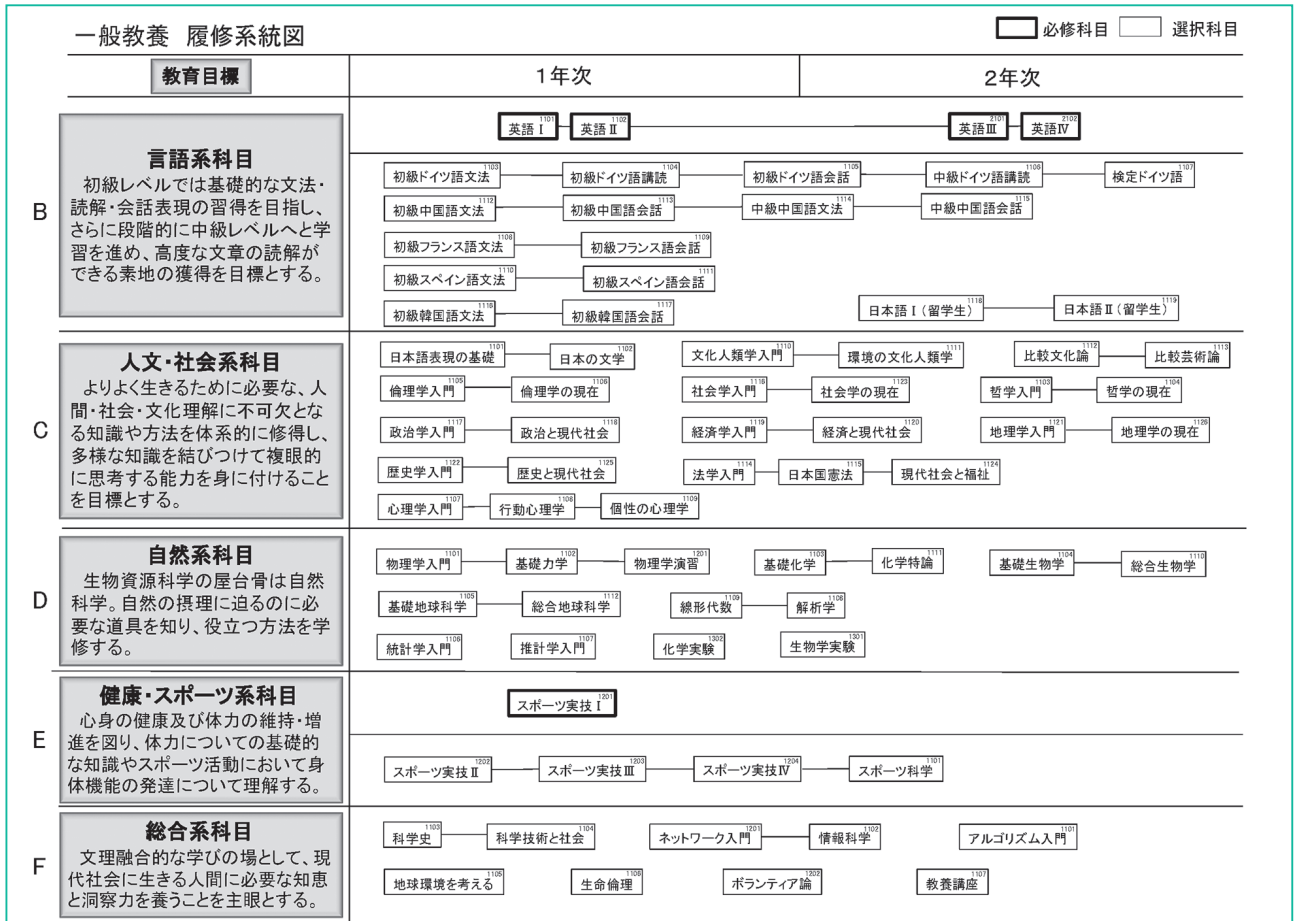
履修系統図の見方

◆履修系統図とは

履修系統図とは、卒業までに身につけるべき知識・能力を得るための授業科目が、どのように配置されているか、各授業科目の関連性や履修順序などを“見える化”したものです。

必ずしも、履修系統図通りに履修する必要はありませんが、履修に悩んだ際の参考としてください。

履修登録の際は、科目ナンバリングとともに履修系統図を活用してください。



※ 各学科の「履修系統図」は学部ホームページを参照
https://www.brs.nihon-u.ac.jp/about/course_diagram/



履修登録表 (下書き用)

◆自分の時間割をここにかいてみましょう

時限		1		2		3		4		5	
曜日	学期	科目名	教員名	科目名	教員名	科目名	教員名	科目名	教員名	科目名	教員名
月	前学期・通年										
	後学期										
火	前学期・通年										
	後学期										
水	前学期・通年										
	後学期										
木	前学期・通年										
	後学期										
金	前学期・通年										
	後学期										
土	前学期・通年										
	後学期										

前学期集中講義

科目名	教員名	開講日程

後学期集中講義

科目名	教員名	学部名	開講日程